HASHIMOTO SOGYO COMMUNICATION
team hat Magazine
hat 橋本総業ホールディングス
2023 VOL.5

第38回テニス日本リーグ1stステージ

3チームとも全勝!

前回準優勝している「橋本総業ホールディングス」チーム。1 st ステージは横浜国際プールで試合が組まれた

12 月 7 日から 10 日にわたり、横浜国際プールとブルボンビーンズドームで実業団の団体戦「テニス日本リーグ　1 st ステージ」が開催された。参加したのは昨年準優勝している男女の「橋本総業ホールディングス」と女子新チームの「橋本総業」。3 チームとも全勝し、リーグ戦の前半を良い状態で折り返した。

特に「橋本総業」は日本リーグに昇格したばかりの新チームであるため、1 回戦から前回優勝している島津製作所と対戦することに。3 試合の内、2 試合がファイナルタイブレークとなる接戦となったが、緊張感の溢れる試合を勝ち切り最高のスタートを切った（詳細は右表）。

2nd ステージは 2024 年 1 月 17 日～ 21 日（男子）、20 日～ 21 日（女子）に、会場を入れ替えて行われる。今回は 1 st ステージの「橋本総業 HD」チームの戦いを紹介しよう。

橋本総業･女子結果

12月8日（金）

	橋本総業	3-0	島津製作所
S1	瀬間 詠里花	6-3 4-6 10-5	加治 遥
S2	小林 ほの香	6-1 7-5	桑田 寛子
D	大前 綾希子／奥脇 莉音	3-6 6-3 10-3	松本 安莉／永田 杏里

12月9日（土）

	橋本総業	3-0	明治安田生命
S1	瀬間 詠里花	6-2 6-1	細沼 千紗
S2	小林 ほの香	6-4 6-4	足立 真美
D	大前 綾希子／奥脇 莉音	5-7 6-2 10-7	米原 実令／清水 里咲

12月10日（日）

	橋本総業	3-0	九州電力
S1	瀬間 詠里花	7-6(3) 6-2	今村 凪沙
S2	小林 ほの香	6-3 6-1	宮原 三奈
D	大前 綾希子／奥脇 莉音	6-1 6-0	松本 紗也／安田 幸穂

Tennis
Japan League
1st Stage
男子

新規加入メンバーが大活躍！

3人が今年契約した選手で、海外選手のリー・ツも溶け込み実力を発揮した。

1バックスライスのコントロールが絶妙なリー・ツ　2これからさらなる成長が期待される渡邉聖太／吉村大生組　3パワフルなサービスを武器に勝利を挙げた福田創楽　4新加入のリー・ツが橋本政昭会長に挨拶

男子チームは準優勝した前回とはメンバーが大きく変わっている。新加入したのは世界ランク 276 位のリー・ツ（オーストラリア）に、シングルス２を担った福田創楽とダブルス巧者の渡邉聖太。男子はどのチームも選手強化を図っており、杉山記一監督は「グランドスラム予選に出るレベルの選手が１人はいないと厳しい」と現状を語る。そこで白羽の矢が立ったのが、新加入の渡邉が１人で遠征した時に頻繁に練習相手になってくれたリー・ツだ。「チームスポーツが好き」というリーは、「チームの勝利には個人の勝利が必要だから、できるだけアドバイスもしていきたい」と、プレー面だけでなく落ち込んでいる選手に声をかけるなど、チームを支える存在になっている。

急成長している渡邉も頼もしいメンバーとなっている。今年初めてダブルスでジャパンオープン本戦に出場し、日本代表のマクラクラン勉との練習機会を得た。これらの経験から「ボレーの決定率が違う」ことを感じ取り、今はボレーで決め切る練習を取り入れている。ダブルスのためにする練習が明確になったことで、結果も付いてきた。この後の日本リーグでも重要なダブルスでの勝利が期待される。しっかり者の河内一真がキャプテンとなり、故障明けの川上倫平も 2nd ステージにはプレーできそうだ。新しいチームがどこまで駆け上がっていくのか期待したい。

橋本総業ホールディングス・男子結果

12月7日（木）

	橋本総業ホールディングス	3-0	協和キリン
S1	リー・ツ	6-0 6-2	園田 和也
S2	福田 創楽	6-1 6-1	渡部 将伍
D	渡邉 聖太／吉村 大生	6-1 7-6(3)	小林 太郎／鈴木 保貴

12月8日（金）

	橋本総業ホールディングス	2-1	マイシン
S1	リー・ツ	7-5 2-6 10-5	許 育修
S2	福田 創楽	6-1 6-0	永沼 和也
D	渡邉 聖太／吉村 大生	6-4 1-6 5-10	高橋 勇人／末岡 大和

12月9日（土）

	橋本総業ホールディングス	3-0	明治安田生命
S1	リー・ツ	6-3 6-3	野口 莉央
S2	福田 創楽	6-0 6-1	矢島 淳揮
D	渡邉 聖太／吉村 大生	6-2 6-4	田村 迅／伊藤 竹秋

12月10日（日）

	橋本総業ホールディングス	3-0	伊勢久
S1	リー・ツ	6-4 6-1	千頭 昇平
S2	福田 創楽	6-1 6-1	真栄田 珠
D	渡邉 聖太／吉村 大生	3-6 6-2 10-7	有本 尚紀／玉腰 敬大

Tennis
Japan League
1st Stage
女子

伊藤竜馬新監督の和やかなチーム作り

女子は2チームになり、昨年まで男子チームでプレーしていた伊藤が監督に就任した。

女子は２チームになったことで、吉田友佳さんが全体を見る総監督になり、「橋本総業 HD」チームの監督には、現役男子選手の伊藤竜馬が就任した。伊藤は昨年あたりからコーチ業にも興味を示していたので、良いタイミングだったのだろう。監督になるにあたり「団体戦はプレッシャーがかかるので、笑顔でリラックスできるように」ということを心掛けており、「結果はわからないので自分のやるべきことをやればいい」と、現役選手ならではの感覚でサポートしている。

そんな監督についてシングルス１の坂詰姫野は「緊張をほぐしてくれます。試合中も必要なことを言ってくれます」と言い、シングルス２で出場した岡村恭香も「アドバイスが的確でピンポイントで重要な情報をくれる安心感があります」と、選手にとっても良い影響があるようだ。

大所帯の昨年と違い、選手５名と少数精鋭となった。シングルス１の坂詰はグランドスラム予選に出場できるレベルの中心選手。シングルス２とダブルスをどう組むのか。「２nd ステージでも色々とトライして作り上げていきたい」という伊藤監督の手腕にも注目しよう。

5

6

7

8

9

5ベンチで選手を和ませる伊藤竜馬新監督　6展開でポイントを取る力が上がってきた坂詰姫野　7岡村恭香は伸びのあるストロークを披露した　8安定感のあるプレーで勝利を挙げた小関みちか　9小堀桃子／森崎可南子組はショットの威力で相手を圧倒した

橋本総業ホールディングス・女子結果

12月8日(金)			
	橋本総業ホールディングス	3-0	センコーグループ
S1	坂詰 姫野	6-0 6-1	猪川 結花
S2	小堀 桃子	6-3 6-1	矢崎 梓紗
D	岡村 恭香／森崎 可南子	6-3 6-1	佐藤 葵／中山 媛日
12月9日(土)			
	橋本総業ホールディングス	3-0	MS & AD 三井住友海上
S1	坂詰 姫野	6-0 6-2	細木 祐佳
S2	小関 みちか	6-1 6-1	村瀬 早香
D	小堀 桃子／森崎 可南子	6-0 6-0	定兼 由佳／柴藤 桃子
12月10日(日)			
	橋本総業ホールディングス	3-0	フクシマガリレイ
S1	坂詰 姫野	6-0 6-1	堺 愛結
S2	岡村 恭香	6-0 6-0	湯浅 里帆
D	小堀 桃子／森崎 可南子	6-0 6-1	清水 梨沙／助川 峰理

TOPICS

柴原と坂詰が日本代表に招集

2023年11月10日(金)・11日(土)に有明コロシアムで行われた国別対抗戦「ビリー・ジーン・キング・カップ 2023 ワールドグループ プレーオフ　日本対コロンビア」戦に、所属選手の柴原瑛菜と坂詰姫野が日本代表として招集された。柴原は２－２の勝敗が決まる重要な試合で、青山修子と組んでダブルスに出場。実力を存分に発揮して日本の勝利に貢献した。

坂詰と柴原が有明コロシアムで日本代表として戦った

小堀 桃子
Momoko Kobori

ITF W100
日本・高崎
11月13日～
11月19日
ダブルス準優勝

ITF W100
DOUBLES
準優勝

Passed Protest Test

25歳の小西瑞穂がプロテストに合格！

GOLF ゴルフ

所属選手の小西瑞穂が、2023年10月31日から4日間の日程でJFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部にて開催されたJLPGA最終プロテストにおいて、トータル7アンダー·12位タイでホールアウトし、4回目の挑戦で合格を手にした。

今回のプロテストには101名の選手が出場。試合は4日間72ホールストロークプレーで行われ、通算スコアが20位タイの選手までが合格となる。小西は2日の段階で2位タイまで順位を上げたが、その後に多少後退し、12位タイの成績で合格となった。

小西は「去年から橋本総業の皆さんに本当に応援していただき、今私にできる1番の恩返しはプロテストに合格して喜んでもらうことだと思いました。プロゴルファーになったこれからが大変だと思いますが、精一杯頑張っていくので暖かい応援をしてくださるとうれしいです！」と感謝の気持ちを述べた。

プロテストに合格して満面の笑みの小西瑞穂

Final QT 23rd Place

ファイナルQTを23位で前半戦の出場権獲得！

キャディをしてくれた兄の健太と一緒に

2023年JLPGAツアー クォリファイングトーナメントファイナルステージ（ファイナルQT）が11月28日～12月1日にわたり、静岡県·葛城ゴルフ倶楽部 宇刈コースで開催された。

クォリファイングトーナメントとは、翌年のJLPGAツアーの出場資格を決定するためのトーナメント。目安としては、35位以内に入っていれば、出場権獲得となる。今回のファイナルQTでは2024年前半戦の出場権を目指して、104人が挑んだ。

小西は男子プロで同じく所属契約選手である兄の健太がキャディとなり兄妹で回った。最初の2日は低迷するも、そこから切り替えて逆転に成功。最終的に23位で出場権を手に入れた。プロとして戦える舞台も整った、2024年の小西の活躍を応援しよう。

小西 瑞穂 Mizuho Konishi

出身地／広島県尾道市　生年月日／1998年5月20日
出身校／東北福祉大学　身長／158cm　体重／51kg
血液型／O型　ゴルフ歴／9歳～　目標選手／佐伯三貴プロ
今後の目標／優勝！　主な戦歴／日本女子学生優勝
自己PR／ていねいなゴルフが持ち味

発行：橋本総業ホールディングス株式会社　編集：Tennis.jp　デザイン：鷲見善弘（こうぼく堂）
●本誌掲載の記事、写真、など全ての無断掲載、複写を禁じます。